

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>内容がわかりやすく、利用者や家族に理解してもらえ、違和感なく今までの生活の中に習慣づいてる物も含めて実施できるよう掲示している。</p>	<p>理念</p> <p>1.普通の生活をしていただきます。 2.出来る事はしていただきます。 3.地域の行事や馴染みの人々とのふれ合いをしていただきます。 4.笑いと楽しみのある生活をしていただきます。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>取り組んでいる。</p>	<p>職員全員で実践に向け日々取り組んでいる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月に1回開催される運営推進会議、面会、見学等で説明している。</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>門や玄関が開錠している時間帯はどなたでも来所できるようにしている。</p>	<p>近隣の方は限られているが、気軽に声かけて下さったり、花や野菜をいただいたりしている。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>希望される行事の参加を支援し家族の理解や協力がある。</p>	<p>友人、知人の訪問や隣接の小学校の運動会、音楽会、作品展等に参加し、地域の敬老会等にも参加の支援をしている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組んでいる。		支援センター、訪問介護、訪問看護等の、職員との事例検討での日常生活等の対応の工夫や調理の工夫など情報を交換したりしている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び第三者評価の意義を理解している。		改善項目について話し合い、評価を活かしつつ改善に向け取り組んでいる。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	取り組んでいる。		会議ではグループホームの利用者やサービスの実際等について、報告や話し合いを行い、季節によっては、感染症の勉強会なども行い、理解を深めている。
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	取り組んでいる。		明石市介護保険課と情報を共有しサービスの質の向上に努めている。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	支援している。		過去に弁護士事務所を通じて支払い等をされる利用者がいた。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止に努めている。		虐待防止に向け職員への啓発を行い、外出、外泊後、施設内で入浴時等利用者の状況（アザ、打ち身、外傷等）把握に努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	サービス担当者会議等を開き、関係する機関に出席してもらい十分な説明を行なっている。	入所、退所にかかわらず相談する機会を作り各方面の職員に出席してもらい、本人および家族等に十分説明し、不明点の質問を受け理解と納得を図っている。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者からの意見、不満、苦情はその都度、職員等が聞き対応している。	内容によっては時間のかかるもの、相談を必要とするものもある為、対処方法をよく考えて、利用者が納得できるようにしている。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月の報告書及び、面会時に行なっている。急な場合は電話連絡している。	家族の面会日に詳しく状況を説明したり、預り金の明細書、外来受診領収書等を定期的に家族に渡したり、個々にあわせた対応をしている。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族等の意見、不満、苦情等はその都度、職員等が聞き対応している。	運営推進会議の構成員として利用者家族2名が参加。内容によってはミーティングなど開いて話し合いの場をもうけ対応し運営に反映させている。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	反映されている。	定期的を開催する法人幹部会議や法人内運営会議で意見、提案を聞き運営に反映する。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	柔軟な対応をしている。	利用者や家族の状況の変化、要望等に対応ができるよう他部署からの応援体制も整っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職の場合は利用者に説明している。混乱はない。		新しい職員が異動に来た場合も説明し、今いる職員が馴染みの関係になるまでフォローしている。
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受ける機会を設けている。		職員の経験や段階に応じて県立リハビリセンター内で開催される各種研修及び他の研修や講習等進めている。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	取り組んでいる。		明石市介護サービス事業者連絡会を通しての情報交換等している。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	取り組んでいる。		部署ごとの歓送迎会、本部の新人歓迎会や、忘年会等を行なっている。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努めている。		職員の資格取得の援助をしながら、各自の向上心を促進している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ゆっくり話をする機会を作り、本人の思いや訴え、要望等を聞き受けとめる努力をしている。</p>	<p>スタッフから質問するだけでなく、本人から話をしてもらえのを待ちながら、ゆっくりと対応している。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ゆっくり話をする機会を作り、家族の思いや、要望等を聞き受けとめる努力をしている。</p>	<p>家族の思い等をゆっくり聞き、少しでも思いを共有できるように、その都度機会を作っている。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>努めている。</p>	<p>本人、家族から得た情報を基に施設スタッフ、訪問看護師、リハビリ等、他職種と連携を図り、支援の方向性を相談しながら対応している。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に家族と一緒に見学してもらい雰囲気等体験してもらっている。ならし入居も実施している。</p>	<p>声かけを多く行い、顔馴染みの関係を築けるように工夫している。レクリエーション等への参加にて、利用者同士も顔馴染みになれるよう支援している。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者との関わりを大切にしている。</p>	<p>日常生活の場面において、入居者、スタッフ一緒に取り組み、入居者より教えてもらったり、一緒に考え、意見を出し合ったりと良い関係を築くよう努めている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の状態だけではなく、家族の気持ちや状態の把握に努めている。</p>		<p>日々の様子や現在の気持ち等、スタッフが把握している事は面会時、家族に伝える。逆に家族の思いや不安等の訴えを聞いている。</p>
29	<p>利用者との家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>情報提供を行い、家族からの質問についても分かりやすく説明している。</p>		<p>面会以外にも、見学会、買物ツアー等行事への案内を行い、一緒に過ごせるような関係づくりが出来るよう支援している。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人、家族の希望により、外泊、外出や墓参り等家族の協力が得られている。</p>		<p>外出、外泊の協力をお願いし理解が得られている。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の関わりを大切にしている。</p>		<p>スタッフがすぐに利用者の中に入り関わるのではなく、利用者同士が話し合える機会を大切に見守りを行なっている。難聴者にはスタッフがパイプ役となることで、関係が築いていけるよう支援している。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居後も気軽に立ち寄って頂く様、声かけしている。</p>		<p>いつでも気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りを行なっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとり話を聞き、把握に努めている。	グループホームでの生活について希望や意向を聞き、介護計画に反映させている。思いや希望の変化に応じて見直しも検討している。
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	得た情報はアセスメントシートに記入し情報を共有している。	アセスメントを行い、生活歴等情報収集を行なっている。グループホームを利用するに至るまでの経過の把握に努めている。
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	本人に声をかけながらその日の状態を把握、声のトーンや表情、動作等も含め観察を行なっている。	自由に過ごして頂ける様、その日の気分、体調等状態に合わせた対応を行なっている。また、入居者のできる事を把握し、できる事は見守りのもと行いながら、自信に繋げていけるように支援している。
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	日々の状態を本人、スタッフと話し合いながら本人のグループホームでの望む暮らしを主に介護計画を作成している。	本人、家族に介護計画を説明し納得の上サインを頂いている。
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に1回介護計画の見直しを行っている。状態が変化すれば、話し合いにて、対応の見直し等も行っている。	介護計画の見直しの時期には日々の状態を利用者、家族、職員と話し合いながらモニタリングを行い、次の介護計画に活かしている。見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、母体病院医師、訪問看護師等と話し合い、新たな計画を作成して行くように努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子等は個別記録に記入し情報を共有し実践等に活かしている。		日々の様子は、入居者記録、介護支援経過モニタリングチャートに記入し、また、スタッフ同士日々情報交換を行い、情報を共有、実践や介護計画の見直しに活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体が病院である為、初期治療が可能である。送迎車の空き時間を利用してドライブ等に出かけている。		治療の経過観察、検査、急変等の対応がスムーズに行える。リハビリテーションも充実している。買物ツアー、ドライブ等、外出の機会を作っている。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	支援している。		運営推進会議のメンバーに民生委員、ボランティアグループのリーダーが多く協力をして頂いている。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	支援している。		法人内の運営会議で他職種と話し合い、サービス利用について支援する。
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	している。		法人内地域型支援センターを通して地域包括支援センターへの働きかけ。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	支援している。		かかりつけ医による診察、問診等を受けやすい状況を作っている。専門医の受診は家族の協力を得て適切な対応をしている。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	支援している。		母体病院、老健医師 共 認知症医師研修を受講しているため治療の経過観察や指示が受けやすい。
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	支援している。		訪問看護師による週一回の健康チェックを行なっている。受診の有無や経過の様子を相談している。
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	早期退院に向けた医療機関との情報交換や相談に努めている。		法人内の地域連携室と退院日の予定や継続に行なう薬剤、リハビリテーション等の状況の確認を行なっている。
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や終末期に向けた方針の話し合いをしている。		段階をおいて何度も話し合いの機会を設けている。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	重度化や終末期に向け今後の変化に備えて検討や準備を行なっている。		医師、看護師、職員、利用者の家族等協力し合っで行なっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>退所で受ける環境の変化による体調や精神的ダメージを少なくするように努めている。</p>		<p>退所に向けてサービス担当者会議を開催し、各方面からの関係者に出席してもらい、利用者、その家族による、十分な話し合いを行なっている。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>プライバシーに配慮している。</p>		<p>一人ひとりの対応に気をつけている。記録等、個人情報の管理は、別事務所に保管している。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>支援している。</p>		<p>その人に合わせた支援の仕方を工夫して対応している。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>支援している。</p>		<p>一日のスケジュールはあるが、その日の体調や意欲等を考慮して強制はせずにその人のペースに合わせた支援をしている。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>支援している。</p>		<p>清潔な衣類をきてもらうようさりげなくアドバイスしている。理容、美容は併設老健で毎月曜日行える為、利用者の希望を聞いて行なっている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力を活かしながら行なっている。		準備や食事、片付けは声かけて手伝ってもらえる人にもしてもらっている。苦にならないよう配慮している。
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	楽しめるように支援している。		食事等の制限のある人、症状により摂取が制限されている人等に配慮して状況に合わせて支援している。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	支援している。		排便チェック表を使用し、支援している、その人に合わせたパターンで日中はトイレで排泄できるよう支援している。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりゆったりと入浴してもらっている。		曜日はあらかじめ決めているが、順番はその日によって違うので入浴時間前のバイタルチェックの時に直接利用者に伝えている。反面利用者が何曜日が入浴日と覚えていて、用意がスムーズに行える。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	支援している。		疲れた時は居室で横になったり、早目に就寝したり、一人ひとりの状況に応じた支援をしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	支援している。		その人に合った役割や趣味等の活動の支援、散歩やドライブ、見学会等外出の支援も行なっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したり使えるように支援している。		おこづかい程度所持されており、日常必要な物や、買物ツアーの時の購入品の代金など支払う時に支援している。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の支援をしている。		家族と一緒に買物、食事、ドライブ等の支援、近くを散歩等は毎日支援している。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	支援している。		友人や遠方の家族等のお見舞いや小旅行、お盆、お正月の家族とのだんらんの為の外泊など支援している。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援している。		利用者の家族の面会が多い為、電話や手紙を書く人が少ないが、掛けたい人は詰所や併設施設まで、同行して利用してもらっている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	支援している。		朝7時から夜7時までの間はいつでも面会可能で居室や併設の喫茶等利用してもらっている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに取り組んでいる。		全ての職員が理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでいる。		鍵をかけないことで利用者の心理的不安を取り除いている。
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者に配慮しながら安全確認を行なっている。		常に誰がどこにいるかを把握し、職員は業務や利用者の支援を行なっている。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品の保管、管理を行なっている。		洗剤、消臭液、その他危険なものはどこに何がいくつあるか記入等して把握している。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止の為、取り組みを行なっている。		併設老健事故防止及び安全管理委員会に参加して取り組む。
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルがある。		応急手当や初期対応はできる。マニュアルどうりの対応をしている。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	働きかけをしている。		災害対策マニュアル及び防災訓練を通して行なっている。利用者の避難訓練まではできていない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時に、家族等に説明し対応策を話し合っている。		事故、急な症状の変化等の対応は話し合いができています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化の早期発見と対応に努めている。		日々の申し送りの中やカンファレンス等に活かして速やかに情報を共有し、対応に努めている。場合によっては、訪問看護師や母体病院看護師に相談している。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援をとうして症状の変化等の確認に努めている。		少しでも変化に気づいたら母体病院の医師、看護師に相談し、対応している。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の予防と対応に取り組んでいる。		排便チェック表で確認し、医師、看護師と相談しながら飲食物の工夫、水分補給、運動、マッサージでその人に合った支援に努めている。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔内の清潔保持の為に口腔ケアを支援している。		習慣として身につけている人、声かけ見守りが必要な人、介助が必要な人等、その人に合った支援をしている。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った支援をしている。		管理栄養士・看護師と相談し一人ひとりに合った支援をしている。夏場は特に水分補給を促している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対応のマニュアルがある。		マニュアルどおり対応している。インフルエンザ、ノロウイルスの流行の季節は特に注意している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理に努めている。		台所、調理用具等の衛生管理と新鮮な食材の使用と管理に努めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	アーチ型の門、花壇や洗濯物の物干しやベンチ等があり生活の臭いがするよう工夫している。		花壇に季節の花や野菜、植木鉢等利用者と一緒に世話をしている。玄関前にはベンチが置いてあり、日光浴や休憩できるようになっている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって生活しやすい、環境作りをしている。		玄関には休める椅子、廊下には、椅子を配し、食堂のテーブルには花が活けてあり浴室も入浴しやすいように工夫している。ブラインドで光の調整をしている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間における一人ひとりの居場所づくりに努めている。		共有空間はドアがいつでも開いていて使用できる状態になっている。一人で色塗りや折り紙、写経、数人で雑談したり自由に過ごしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや好みの物を置き、居心地よく過ごせるよう居室内を工夫をしている。		居室内での動きの妨げにならない程度に使い慣れた物等を置いてもらい、落ち着いて居心地よく過ごせるよう工夫している。タンス、本、時計、花等。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気、空調の配慮をしている。エアコンもその都度希望を聞いたり天候を見ながら状況に応じてこまめに行なっている。		各居室、デイルーム、食堂など、冷暖房換気扇完備。季節や体調等状況に応じて対応している。
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存機能を活かし、一人ひとり自立した生活が送れるよう工夫している。		一人ひとりに合った支援の工夫をしている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの力に合わせた支援を工夫している。		一人ひとりのわかる力を活かしてできる事を支援している。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	利用者が楽しんで活動できるよう支援している。		鉢植えの花や水やりの世話等積極的にされている。外周りを散歩するのも楽しみにしている。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)